Wako
和光純薬工業株式会社

安全データシート

According to JIS Z 7253:2012

改訂日 2014-6-14
版 1

1. 化学品及び会社情報

製品名	硝酸ニッケル(II)六水和物
製品コード	147-01101,149-01105
CAS No	13478-00-7

化学式 Ni(NO3)2·6H2O

製造者
和光純薬工業株式会社
大阪市中央区道修町三丁目1番2号
電話:06-6203-3741 FAX番号:06-6201-5964

供給者
和光純薬工業株式会社
大阪市中央区道修町三丁目1番2号
電話:06-6203-3741 FAX番号:06-6201-5964

緊急連絡電話番号 試薬営業本部西日本営業部 06-6203-3741 試薬営業本部東日本営業部 03-3270-8571

推奨用途及び使用上の制限 試験研究用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物質又は混合物の分類

酸化性固体	区分3
呼吸器感作性	区分1
皮膚感作性	区分1
発がん性	区分1A
水生環境有害性(急性)	区分1
水生環境有害性(長期間)	区分1

絵表示

注意喚起語 危険

危険有害性情報

H272 - 火災助長のおそれ:酸化性物質
H334 - 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ
H350 - 発がんのおそれ
H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H400 - 水生生物に非常に強い毒性
H410 - 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き-(安全対策)

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- すべての安全予防措置を読み、理解するまでは取り扱わないこと。
- 個人用保護具を着用すること。
- 粉じん、蒸気、ガス、ミスト、フューム、スプレーの吸入を避けること。
- 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用する。
- 汚染された作業衣は作業場から出してはいけません。
- 保護手袋
- 環境に放出しないこと。
- 熱、火花、裸火、熱い面から離して保管すること-禁煙。
- 衣服/可燃物を避けて保存/保管する。
- 可燃物との混合を避ける予防措置をすること。

注意書き(応急措置)

- ばく露、もしくはその恐れがある場合、医師の治療を受けること。
- 皮膚に付着した場合、多量の水と洗剤で洗浄する。
- 皮膚に炎症や発疹が起きた場合、医師の治療を受けてください。
- 再使用の前に汚染された衣服を洗う。
- 吸入し、呼吸が困難な場合、患者を新鮮な空気のある場所に避難させ、呼吸が楽な姿勢で休息をさせること。
- 呼吸器系の症状がある場合、毒劇物センターもしくは医師に連絡をしてください。
- 火災の場合:消火には、二酸化炭素、粉末消火剤、フォームを使用する。
- 漏出物を集めること。

注意書き-(保管)

- 非該当

注意書き-(廃棄)

- 内容物および容器は承認された廃棄物処理場に廃棄すること。

その他

ほかの危険有害性 情報なし

3. 組成及び成分情報

純物質もしくは混合物 単一物質

化学式 Ni(NO3)2·6H2O

化学名	重量パーセント	分子量	化審法官報公示番号	安衛法官報公示番号	CAS番号
硝酸ニッケル(II)六水和物	98.0	290.79	(1)-485	N/A	13478-00-7

不純物及び安定化添加物 非該当

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移すこと。 症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

すぐに石鹸と大量の水で洗浄すること。 症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

眼に入った場合、数分間気を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。 直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。 意識のない人の口には何も与えないこと。 ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。 医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

応急処置をする者の保護

個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤

大量の水

使ってはならない消火剤

粉末、泡消火剤

特有の消火方法

利用可能な情報はない

火災時の特有危険有害性

熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。

消火を行なう者の保護

個人用保護具を着用すること。 消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者の以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。 その他の環境情報については12項を参照してください。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。こぼした場所は大量の水で洗い流す。

回収、中和

利用可能な情報はない

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。火花を発生しない安全な用具を使用する。 環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

可燃物及び還元剤との接触を避ける。 局所排気装置を使用すること。

注意事項

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。 使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではならない。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項

皮膚、眼、衣服との接触を避ける。 個人用保護具を着用すること。

保管

安全な保管条件

保管条件 直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。

安全な容器包装材料 ガラス

混触禁止物質 強酸, 還元剤, 有機物、可燃物

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

管理濃度　作業環境評価基準 0.1 mg/m³

ばく露限界

化学名	日本産業衛生学会	ISHL Working Environmental Evaluation Standards - Administrative Control Levels	米国産業衛生専門家会議(ACGIH)
硝酸ニッケル(II)六水和物 13478-00-7	TWA: 0.01 mg/m³ OEL ISHL/ACL: 0.1 mg/m³	ISHL/ACL: 0.1 mg/m³	TWA: 0.1 mg/m³ Ni inhalable fraction

保護具

呼吸器用保護具 防塵マスク, 空気呼吸器

手の保護具 保護手袋
眼の保護具 側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)
皮膚及び身体の保護具 長袖作業衣

適切な衛生対策
産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

9. 物理的及び化学的性質

形状	緑色 結晶~結晶性粉末
臭い	無臭
pH	
融点・凝固点	57 °C
沸点, 初留点及び沸騰範囲	137 °C
引火点	データなし
蒸発速度	データなし
燃焼性 (固体、ガス)	データなし
燃焼又は爆発範囲	
上限:	データなし
下限:	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重・密度	2.05
溶解性	水 , エタノール : 溶けやすい 。
n-オクタノール水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度(粘性率)	データなし
動粘度	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

安定性 推奨保管条件下で安定。
反応性 データなし

危険有害反応可能性
通常の処理ではなし。

避けるべき条件
高温と直射日光

混触危険物質
強酸, 還元剤, 有機物、可燃物

危険有害な分解生成物
窒素酸化物(NOx), ニッケル酸化物

11. 有害性情報

急性毒性 データなし

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

その他のデータ データなし

残留性･分解性 利用可能な情報はない
生体蓄積性 利用可能な情報はない
土壌中の移動性 利用可能な情報はない
オゾン層への有害性 利用可能な情報はない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物
廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。
汚染容器及び包装
廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14. 輸送上の注意

ADR/RID(陸上)

国連番号	UN2725
品名	Nickel nitrate
国連分類	5.1
副次危険性	
ラベル	5.1
容器等級	III
ERGコード	5L
海洋汚染物質	該当

IMDG(海上)

国連番号	UN2725
品名	Nickel nitrate
国連分類	5.1
副次危険性	
容器等級	III
EmS番号	F-A, S-Q
海洋汚染物質	該当

IATA(航空)

国連番号	UN2725
品名	Nickel nitrate
国連分類	5.1
副次危険性	
容器等級	III
環境有害物質	該当

15. 適用法令

国際インベントリー

EINECS/ELINCS	-
TSCA	-

国内法規

消防法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法57条、施行令第18条), 特定化学物質第2類物質, 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)No. 418, 作業環境評価基準(法第65条の2第1項)
化審法	非該当
危険物船舶運送及び貯蔵規則	酸化性物質類・酸化性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法	酸化性物質類・酸化性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)
海洋汚染防止法	非該当
PRTR法	特定第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1、施行令第4条)
特定第1種-No.	309
水質汚濁法	非該当
輸出貿易管理令	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
オゾン層保護法	非該当
化学兵器禁止法	非該当

16. その他の情報

引用文献
改訂番号 利用可能な情報はない

免責事項
このSDSはJIS Z 7253:2012に 準拠し ております。記載内容は通常の取扱を 対象とし たものであって他の物質と 組み合わせるなど特殊な取扱いをする場合は使用環境に適し た安全対策を実施の上ご 利用く ださい。改訂日における最新の情報に基 づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅し ているものではありませんので新たな情報を入手し た場合には追加又は訂正さ れること があります。また、安全な取扱い等に関する 情報提供を目的とし ておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等と は異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知ら れてい ない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意く ださい。
GHS Classification is acoording to JIS Z7252(2010). *JIS: Japanese Industrial Standards

以上